

★座り心地の良いシートの要件、素材が与える影響とは？

セミナーNo.712402

★人間特性に基づいた「疲れにくいシート」の考え方と開発事例を詳解

自動車用シートの 快適性(心地)向上とその評価、数値化

●日 時 平成29年12月11日(月) 10:30~16:30

●会 場 [東京・五反田]技術情報協会 セミナールーム

●聴講料 1名につき55,000円(消費税抜き・昼食・資料付き)

[大学、公的機関、医療機関の方には割引制度(アカデミック価格)があります。詳しくはお問い合わせください]

1. 自動車シートにおける座り心地の数値化と評価手法

(10:30~14:15 ※昼食休憩含む)

信州大学 繊維学部 教授 工学博士 西松 豊典 氏

最近、感性品質である快適性(心地)がさまざまな製品の魅力に大きな影響を与えています。特に、自動車内装品(カーインテリア)には自動車のコンセプトに合った快適性(心地)を実現することが望まれています。

本講座では、着座時に常に乗員が接触している自動車シートの「座り心地」をどのような官能検査手法、シートの物理特性をどのような測定方法を用いて実験・評価・解析を行い、「座り心地」を数値化する手法について解説します。また、人間快適工学を用いて商品化された感性製品の事例(パッドの物理特性が自動車シートの座り心地に及ぼす影響)を紹介します。

1. 人間快適工学とは
2. カーインテリアの心地(シートの座り心地、S/Wの握り心地、インパネの触感)を数値化する官能検査方法

2.1 官能検査を行う前の準備

(被験者, 試技, 形容語, 実験環境の選定)

2.2 一対比較法について

2.3 SD法について

3. シートの物理特性を測定するには

3.1 シート表皮布の硬軟感・乾湿感・粗滑感・温冷感に関連する

物理特性を測定するには

4. シートの「座り心地」に影響する要素とは

4.1 性別と年代の影響

4.2 シート表皮布の「手触り感」とシートの「座り心地」との相関関係

5. 製品開発の具体例

5.1 パッドの物理特性が自動車シートの「座り心地」に及ぼす影響

2. 人間特性に基づく快適で疲れにくいシートの開発

(14:30~16:30)

日産自動車(株) カスタマーパフォーマンス&CAE・実験技術開発本部
カスタマーパフォーマンス&実験技術部 HMI&エルゴノミクス実験技術開発グループ
主担 平尾 章成 氏

自動車シートは、乗員が最も長く広く接する部品であり、シートの快適性は、クルマの良し悪しを左右する非常に大切な性能の一つです。このシート快適性を向上するためには、人間特性を科学し、より深く理解して開発を行うことが非常に重要です。今回は、人間工学、生体力学、生理学的手法を用いた長時間走行時に疲れにくいシートの開発について解説します。

1. 人間特性に基づく快適キャビン開発の考え方

2. 疲れにくいシートの考え方

3. 疲労低減運転姿勢の開発

4. 長時間運転時の肉体疲労の定性および定量的評価

5. 体幹部支持を考慮した

疲労低減シート「ゼログラビティシート」の開発

6. 幅広い体格の乗員に適合したシートクッション特性

「自動車シート」セミナー申込書

No.712402

12/11

[講師紹介引 聴講料2割引]

会社名		事業所・事業部		講師からの紹介として、聴講料を2割引させていただきます。 2名同時申し込み割引との併用はできませんのでご了承ください。 申込書に必要事項をご記入の上FAXにてお申込みください。 お申し込み後はキャンセルできませんのでご注意ください。 申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りします。
住所	〒			個人情報の利用目的 ・セミナーの受付、事務処理、アフターサービスのため ・今後の新商品、新サービスに関するご案内のため ・セミナー開催、運営のため講師へもお知らせいたします
TEL		FAX		
	所属部課	氏名(フリガナ)	E-mail	
受講者1				
受講者2				

今後、定期的な案内を希望されない場合、案内方法に×印をお願いいたします。
(現在案内が届いている方も再度ご指示ください)

[郵送(宅配便)・FAX・e-mail]

 **技術情報協会**

TECHNICAL INFORMATION INSTITUTE CO.,LTD.

申込専用FAX 03-5436-5080